

「溶接甲子園」 野阪さん6位



炭酸ガスアーク部門

科技高生2年連続入賞

溶接甲子園と呼ばれる第9回全国選抜高校生溶接技術競技会（1、2日・愛媛県）の炭酸ガスアーク溶接部門で、科学技術高

（福井市）の機械システム科3年の野阪海翔（と）さん（18）が6位入賞した。同校生徒は昨年の大会では3位入賞しており、県勢の2年連続入賞は初めてという。（山内道朗）

炭酸ガスアーク溶接部門には全国9地区の予選通過者ら16人が出場。溶接する器具から二酸化炭素を出して溶接部分周辺の空気を遮

全国選抜高校生溶接技術競技会の炭酸ガスアーク溶接部門で6位入賞した科学技術高3年の野阪さん。22日、福井市の同校

断して酸化などを防ぎながら、鉄棒に電気を流して溶接する技術を競った。

見た目の良さや内部の完成度などが評価ポイント。

野阪さんは内部に穴ができてミスがあり「見た目はきれいにできただけに、穴がなければ3位以内に入ることができた。初の全国大会で緊張したのが原因かもしれない」と唇をかんだ。

2年連続入賞となった同校機械研究部で6年前から指導する横田真範教諭は「指導は手探りだが、いい方向でできているのかなと思う。

来年こそは悲願の優勝を」と意気込む。野阪さんも「先輩のモチベーションを上げながら、学んだ技術をつないでいきたい」と話した。